

区議会レポート

104号



葛飾区議会議員
かわごえ誠一

2024年7月22日発行

発行：

かつしか区民連合

【区議会控室】 〒124-0012

東京都葛飾区立石 5-13-1

電話 03-3695-1111 (代)

f a x 03-3697-0137

本号の内容

表面：令和6年第二回定例会報告

裏面：タウンミーティング報告

令和6年区議会第二回臨時会・第二回定例会報告

令和6年区議会第二回臨時会

■第1次一般会計補正予算 34億7,251万円議決

◆令和6年区議会第2回臨時議会が招集され、4月26日(金)に開催されました。◆臨時議会では定額減税給付金と、減税の対象にならない世帯に対しての住民税均等割非課税化世帯等重点支援給付金など34億7,251万円が議決されました。◆以降コールセンターの開設、確認書の送付の準備が進められ、その後、口座振り込みが順次行われます。

令和6年区議会第二回定例会

■第2次一般会計補正予算 41億5,450万円上程

◆令和6年区議会第2回定例会が6月5日(水)から6月21日(金)までの17日間の会期で開会されました。◆今定例会では令和6年度第2次補正予算が上程されました。◆一般会計では高校生世代までの児童手当を拡充する児童手当等事業経費12億1,988万円、プレミアム付商品券発行事業経費・キャッシュレス決済ポイント還元事業委託費等14億4,243万円、小学校運営事業経費としてエデュケーションアシスタント雇上費1億4,144万円、バス交通充実事業経費の人材確保・定着支援事業費助成3,457万円などを含む合計41億5,450万円が最終本会議で議決されました。

■子どもの居場所・子ども食堂支援の請願採択

◆今回の定例会では子ども食堂・居場所づくりネットワークから、「子どもの居場所づくり及び子ども食堂支援に関する請願」が提出されました。

◆請願では子ども未来プラザでの子ども食堂の実施や、困難を抱えた子どもの居場所を支える団体への支援などが要請され、保健福祉委員会で審査され、最終本会議で全会一致で採択されました。

■本会議でかわごえ誠一が一般質問に登壇

◆6月5日の本会議において、かわごえ誠一が一般質問に登壇しました。質問項目は下記の通りです。

- 1、公文書管理と区史について
- 2、民泊対策とインバウンドについて
- 3、みどりと花のフェアかつしかとまちづくりについて
- 4、災害対策について
- 5、協働による孤独・孤立対策について
- 6、障害者理解と合理的配慮について



一般質問に登壇するかわごえ誠一

かわごえ誠一タウンミーティング予告

令和6年1月1日能登半島地震～被災者を支える郵便局の現場から

～その時、その後、現場で何が起こったのか～(仮題) 参加費無料

◆講師：黒崎 寿 氏 JP 労組北陸地方本部執行委員長 ◆報告：葛飾区地域振興部危機管理課

◆とき：2024年8月29日(木) 19:00～ ◆ところ：かつしかシンフォニーヒルズ別館5階レインボー

※元日の能登半島地震では大きな被害が生じました。その現場で何が起こったのか、郵便局の立場からご報告をいただきます。

かわごえ誠一オフィシャルサイト www.kawagoeseiichi.com →

日々の活動はFacebook かわごえ誠一をご覧ください。



タウンミーティング報告

～ヤングケアラーの背景を知る～

◆去る2月17日(土)の午後にかわごえ誠一タウンミーティング～ヤングケアラーの背景を知る～を開催しました。
◆今回のタウンミーティングでは講師としてケアラーアクションネットワーク CAN 代表の持田恭子さんをお招きし、ヤングケアラー(きょうだい児)の高校生の日常を描いた短編映画「陽菜の世界」の上映と合わせ、フィルムトークを行いました。

■短編映画「陽菜の世界」の上映とフィルムトーク

◆映画では知的障害の兄を持つ女子高校生が主人公で、進路選択の過程で、友人や担任にも知的障害の兄弟がいる家庭の状況をお話せず、家庭内では親に進路の相談が言い出せない葛藤を抱える姿が丁寧に描かれていました。◆持田さんご自身が元ヤングケアラーで、その経験を元に映画「陽菜の世界」が作られたことです。◆映画を作る過程でも、ヤングケアラーの状況が監督やスタッフなどにもなかなか理解されなかったこともあったとのことですが、その時々持田さんや当事者の話を伝えてヤングケアラーの心情など理解を深めていったとのことでした。◆映画の中で母親から知的障害を持つ「兄」への対応に、妹である主人公に「お姉ちゃんでしょ」とケアを求められた時、「わたしはお姉ちゃんじゃない」と声を荒げるシーンがありますが、「私が子どもの頃に親に対して言えず、飲み込んできた言葉を言ってもらった」とのこと、ケアの現場では言葉にできず飲み込まれている言葉や思いが数多くあることを感じました。◆映画では特に「大団円」的な解決が見えるわ

けではなく、主人公が抱えている課題は残され、日常が続く中で幕が閉じ、これがヤングケアラーの現状であることが観客の心に刻み込まれたかと思います。

■ヤングケアラーを知り支えるために

◆ヤングケアラー支援の状況について、昨今ヤングケアラーという言葉が広がり、貧困や虐待に通じる「かわいそう」というイメージが先走りしている感じがするが、ヤングケアラーはそれだけではなく、緊急的な支援まで至らない子どもたちがマイナスのイメージで見られるのを嫌がり、表に出てこられなくなることを危惧しているとの話がされました。

◆「きょうだい児」などは現状では具体的なケアを担ってなくても「親亡きあとの兄弟の世話」などを考える「先取り不安」を抱えていおり、それは10代のうちに解消していく必要があるとのこと。◆ヤングケアラーの子どもたちに「あなたは一人じゃはない」と伝えて欲しいと話されました。

■葛飾区のヤングケアラー支援と今後

◆フィルムトークの後は、葛飾区のヤングケアラー支援の状況の報告がありました。◆子ども・子育て計画担当課～ヤングケアラー調査を実施し、ピアサポートを実施する団体への支援を導入。◆教育委員会・総合教育センター～学校現場での課題を抱える子どもも支援へスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの活用や、管理職へのヤングケアラー理解への研修などを実施。◆くらしのまるごと相談課～ヤングケアラーを含む包括的な相談体制と継続的な支援の構築。◆今回のタウンミーティングでは講師からヤングケアラーを「かわいそうな子ども」という視点での一方的な支援ではなく、子どもたちの心を尊重するための社会の理解や取り組みが必要だと示されました。◆支援をする立場としてはアセスメントする力が重要であり、地域や学校ではアンテナを高めること、支援の押し付けではなく共感的理解からはじめることが大切であり、そのためにヤングケアラーには多様な背景があることを知ることが重要なことを改めて確認しました。



司会をするかわごえ



上映会の一場面

雑感：◆第二回定例会最終日に全国市議会議長会から議員在職10年表彰をいただきました。◆これまで活動を続けられたのは、応援して下さった皆さまのおかげと感謝申し上げます。◆この10年間で「何ができ、何ができていないのか」改めて振り返る機会としたいと思います。◆さて、今般続いた各種選挙では、様々な面で選挙のあり方が根本的に問われました。◆選挙妨害、公営掲示板の濫用は信頼や信用を元にした選挙制度が機能しなくなる危険性があり、また、SNSを活用した選挙や、既成政党への不審など今までの政党政治のあり方を見つめ直さざるを得ないと感じています。◆その中で、改めて人権を基本にした住民自治、シチズンシップをどのように涵養していくのかが大きな課題だと考えています。◆かわごえも地域の課題解決のために汗を流し、より良い社会を目指すという原点を再確認し活動を進めてまいります。

■かわごえ誠一連絡先■

〒124-0012 葛飾区立石8-47-18

携帯電話 090-2932-7315

e-mail: info@kawagoeseiichi.com

◆かわごえ誠一プロフィール◆

●1963年3月川崎市生まれ ●立石在住34年 ●防災士 ●子育てネットワーク・学童保育・PTAなどの活動に取組む ●都議会議員秘書を経て2013年区議選で初当選・2021年三期目当選 ●議会議員：危機管理対策特別委員会副委員長・保健福祉委員会・議会運営委員会など

かわごえ誠一オフィシャルサイト

www.kawagoeseiichi.com →

日々の活動はFacebook かわごえ誠一をご覧ください。

